

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公開番号】特開2000-290040(P2000-290040A)

【公開日】平成12年10月17日(2000.10.17)

【出願番号】特願2000-18542(P2000-18542)

【国際特許分類】

C 0 3 C	8/24	(2006.01)
G 0 9 F	9/30	(2006.01)
G 0 9 F	9/313	(2006.01)
H 0 1 J	9/02	(2006.01)
H 0 1 J	11/02	(2006.01)

【F I】

C 0 3 C	8/24	
G 0 9 F	9/30	3 2 0
G 0 9 F	9/30	3 4 9 Z
G 0 9 F	9/313	Z
H 0 1 J	9/02	F
H 0 1 J	11/02	B

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月29日(2007.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】基板上に隔壁を有するディスプレイ用部材であって、隔壁が低融点ガラス70～95重量%とフィラーA 5～30重量%からなり、フィラーAの平均粒子径が0.05～0.08μmであることを特徴とするディスプレイ用部材。

【請求項2】フィラーAの粒度分布のピークが0.005～0.08μmの範囲内にあることを特徴とする請求項1に記載のディスプレイ用部材。

【請求項3】基板上に隔壁を有するディスプレイ用部材であって、隔壁を構成する無機成分として低融点ガラス50～90重量%とフィラー10～50重量%からなり、フィラーの粒度分布が少なくとも2つ以上のピークを有し、かつ、少なくとも1種のフィラーBのピークが0.005～0.08μmの範囲内にあることを特徴とするディスプレイ用部材。

【請求項4】フィラーが、1.5～5μmの範囲内に粒度分布のピークを有するフィラーCを含むことを特徴とする請求項3に記載のディスプレイ用部材。

【請求項5】フィラーAが、シリカ、アルミナ、ジルコニア、チタニア、イットリアおよびセリヤの群から選ばれた少なくとも1種を含むことを特徴とする請求項1または2に記載のディスプレイ用部材。

【請求項6】隔壁を構成する無機成分に対して、フィラーCが5～30重量%であり、フィラーBが5～20重量%であることを特徴とする請求項4に記載のディスプレイ用部材。

【請求項7】フィラーCが、コーディエライトおよび高融点ガラスから選ばれた少なくとも一種を含むことを特徴とする請求項4または6に記載のディスプレイ用部材。

【請求項8】高融点ガラスが、ガラス転移点500～1200、軟化点550～1200

0 であることを特徴とする請求項7に記載のディスプレイ用部材。

【請求項9】フィラーBが、アルミナ、ジルコニア、チタニア、イットリア、セリアおよびシリカの群から選ばれた少なくとも一種を含むことを特徴とする請求項3、4、6、7または8に記載のディスプレイ用部材。

【請求項10】低融点ガラスが、ガラス転移点400～550、軟化点450～600であることを特徴とする請求項1～9のいずれかに記載のディスプレイ用部材。

【請求項11】ディスプレイ用部材が、プラズマディスプレイ、プラズマアドレス液晶ディスプレイ、電子放出素子または蛍光表示管を用いた画像表示装置に用いられることを特徴とする請求項1～10のいずれかに記載のディスプレイ用部材。

【請求項12】低融点ガラス70～95重量%および平均粒子径が0.005～0.08 μm のフィラーA5～30重量%からなる無機微粒子と感光性有機成分を含有する感光性ペーストを基板上に塗布・乾燥した後、フォトリソグラフィ法でパターニングし、パターンを焼成して隔壁を形成する工程を含むことを特徴とするディスプレイ用部材の製造方法。

【請求項13】低融点ガラス50～90重量%とフィラー10～50重量%からなる無機微粒子と感光性有機成分を含有する感光性ペーストを基板上に塗布・乾燥し、フォトリソグラフィ法でパターニングし、パターンを焼成して隔壁を形成する工程を含むことを特徴とするディスプレイ用部材の製造方法であって、フィラーの粒度分布が少なくとも2つ以上のピークを有し、かつ、少なくとも1種のフィラーBのピークが0.005～0.08 μm の範囲内にあることを特徴とするディスプレイ用部材の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0099

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0099】

低融点ガラス、高融点ガラス(フィラーC)およびフィラーBと有機ビヒクルを3本ローラで混合・分散して感光性ペーストを得た。感光性ペーストに含まれる各成分(重量部)は、低融点ガラス50、高融点ガラス(フィラーC)12、フィラーB3.3、感光性有機成分35とした。無機成分中の低融点ガラス、フィラーCおよびフィラーBの混合比率は76.6:18.4:5となる。